

天理大学附属 天理参考館

ニュースレター No.24

2020年3月1日発行

2020年 天理参考館 創立90周年

創立90周年を記念した今年の特別展は、健全な心身形成や各種競技への関心が高まるスポーツについて、世界の様々な地域・民族スポーツを通してその歴史と文化を探ります。もう一つは人類が世界を地球規模で意識した大航海時代に焦点を当て、洋の東西を問わず別世界への道を拓いた冒険家たちの足跡を、初公開を含めた貴重な資料から探ります。ご期待下さい。 顧問 松田真一

一筆箋



2020年度

展覧会

天理大学附属天理参考館

創立90周年 特別展

スポーツの歴史と文化

前期 ~~4月17日(金)～6月8日(月)~~

後期 6月24日(水)～8月2日(日)
10

天理大学附属

天理参考館・天理図書館

創立90周年 特別展

大航海時代へ —マルコ・ポーロが開いた世界—

10月21日(水)～12月14日(月)

天理大学附属天理参考館
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
天理市教育委員会

共同展

天理 山の辺の古墳

2021年
2月6日(土)～3月15日(月)

90th anniversary

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

2020年度

トーク・サンコーカン(講演会)・記念講演会

2020年6月1日現在

開催日	タイトル	講師
4月17日(金)	【特別展】天理大学公開授業 第1回 第一部 ラグビーの競い、交流 第二部 マールブルグとの交流、貢献	※時間13:00～15:45 近藤雄二氏・小松節夫氏 森本智士氏・梅谷昭範
4月23日(木)	【特別展】連続講座「民族スポーツ探訪!」第1回 あなたは登れますか:ス ^パ イン・カ ^ル ニ ^ャ 州の「人間の塔」から	日本スポーツ人類学会 会員 岩瀬 裕子 氏
5月2日(土)	【特別展】天理大学公開授業 第2回 柔道の競い、交流そして貢献	細川伸二氏・穴井隆将氏
5月9日(土)	【特別展】記念講演会 民族スポーツの世界	早稲田大学 名誉教授 静岡産業大学 特任教授 寒川 恒夫 氏
5月23日(土)	世界の民族スポーツ	学芸員 早坂 文吉
6月6日(土)	【特別展】連続講座「民族スポーツ探訪!」第2回 メキシコの文化と社会を映す民族スポーツの世界	広島大学 准教授 小木曾航平 氏
7月4日(土)	【特別展】記念講演会 競技祭と文化・芸術	筑波大学 教授 真田 久 氏
7月18日(土)	世界の球技いろいろ—どこで蹴りますか?—	学芸員 幡鎌 真理
9月26日(土)	岸本五兵衛と子壽里庫コレクション	学芸員 中尾 徳仁
10月24日(土) 11月25日(水)	アスターナ古墓出土「伏羲女媧図」を探る【※】 —天理参考館蔵「絹絵伏羲女媧図」を中心に—	学芸員 青木 智史
11月11日(水)	【特別展】記念講演会 戦国日本、西洋を知る 【※要事前申込】	天理大学 准教授 天野 忠幸 氏
12月5日(土) 12月9日(水)	館蔵木彫ヘラクレス像を分析する 【※】 —ルネサンスの一作例—	学芸員 巽 善信
2021年 1月23日(土)	鉄道観光案内に見る昭和初期の奈良・大阪・京都	学芸員 乾 誠二

◇時間…午後1時30分

※会場および定員は各回により異なります。詳細は当館ウェブサイトにてご確認ください。

新企画

★マンデートーク

毎週月曜日

午後1時30分～

※祝日、7/26～8/31を除く

2020年7月20日(月)スタート!

テーマごとに常設展示品の解説をします。参加回数に応じて記念品贈呈!

事情によりタイトル・日程等が変更になる場合があります。

創立 90 周年 特別展

スポーツの歴史と文化



モンゴル相撲「ハルハ・ブフ」衣装 (モンゴル、20世紀後半)
 長袖のチョッキ「ソドグ」最大長 158.0 cm パンツ「ショウダグ」ウエスト幅 47.5 cm



金製月桂冠 (ギリシア、前4世紀頃)
 月桂冠は古代ギリシア祭典の優勝者に贈られた (資料は金製複製品)



北米先住民のラクロスのボールラケット (アタカ、20世紀後半)
 神との繋がりを深める儀式や戦争の代替として行った

東京オリンピック・パラリンピックが開催される本年、スポーツをテーマにした創立 90 周年特別展を開催します。

特定の民族あるいは地域に古くから伝わり、伝統に根ざした固有のスポーツである「民族スポーツ」に注目し、所蔵資料に加え、国立民族学博物館、天理図書館、さらに天理と縁あるスポーツ団体・個人からの展示協力を得て、約 160 点の資料を2期に分け公開します。

多種多様な展示品を通して、スポーツの競技性だけではなく、生命が躍動する姿やその背景にある豊かな文化に触れて頂ける展覧会です。

天理大学附属天理参考館・天理大学附属天理図書館

会期 10月21日(水)～12月14日(月)

創立 90 周年 特別展

大航海時代へ

—マルコ・ポーロが開いた世界—



フオベル地球儀 (ドイツ・ケルン、1536年)
 ルイス・フロイスが信長に献上したのがフオベル地球儀とされている。本品は世界で最も保存状態が良い (天理大学附属天理図書館蔵)



チンギス皇帝聖旨牌子 (中国、13世紀前半) 世界で3点



初公開
 アレクサンドロス大王図マヨリカ陶器 (イタリヤ、16世紀)

マルコ・ポーロが残した『東方見聞録』は世界を開くものでした。この本がヨーロッパの人を冒険へと駆り立てたのでした。モンゴル帝国と大航海時代、全く異なると思われるこの二つの時代をつないでいます。マルコ・ポーロだけではありません。チンギス・ハン、コロンブス、マゼラン、そして日本では信長、秀吉、家康と、歴史上有名な人物が輩出し、誰もが興味を惹く時代です。『東方見聞録』を手がかりに冒険者達は大海原を渡ります。このわくわく感を少しでも伝えられればと思います。とかく閉塞感のある現代だからこそ、夢と冒険の大切さを感じ取っていただければ幸いです。

天理大学附属天理参考館・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・天理市教育委員会

会期 2021年2月6日(土)～3月15日(月)

共同展

天理 山の辺の古墳

天理市の山の辺の道周辺には、天皇陵とされる大型前方後円墳をはじめ多くの古墳があります。いくつかの古墳では発掘調査が行われて、古代史研究に欠かせない重要な資料が出土していますが、天理参考館や奈良県立橿原考古学研究所、天理市教育委員会などに分かれて收藏されており、また多くの資料は通常公開されていません。

本展では普段離ればなれになっている天理市内の古墳出土品を厳選して一堂に会します。またとない機会ですので、ぜひ天理が誇る古墳文化をご覧ください。



天理市塚穴山古墳の石室

2020年 創立 90 周年

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 (入館は午後 4 時まで)
 入館料：大人 500 円 / 団体 (20 名以上) 400 円
 小・中・高生 300 円 (学校単位の団体無料・要事前申込)
 ※障がい者とその介護者各 1 名は無料
 受付カウンターに障がい者手帳等をご提示ください

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
 TEL: 0743-63-8414 FAX: 0743-63-7721 URL: https://www.sankokan.jp/

天理参考館
 ウェブサイト

